

## 【穀物類】

No.	作物名	散布方法	希釈倍率	散布量	散布時期・回数		備考
1	コムギ	追肥	100～200倍	200ℓ/10a	1回目	6葉展開期	
					2回目	幼穂形成期(出穂45日前)	
					3回目	出穂30日前	
					4回目以降	上記3回目から1ヶ月後	
2	水稻(参考)	育苗	200倍	400～600cc/箱	1回目	緑化期	葉面散布が望ましい
		2回目			移植1週間前		
		追肥	200～300倍	300～400ℓ/10a	1回目	幼穂形成期(出穂45日前)	
					2回目	出穂30日前	
					3回目	上記3回目から1ヶ月後	

注1) 一回あたりの**原液正味投入量を2kg/10a**にするのが理想的。散布量は作業上困難であれば散布設備に合わせて変更。

注2) 上記は標準施用時期及び量であり、生育によってはこの限りでなく、チッ素肥効への偏りがみられる時には、更に追肥する。

注3) 降雨の続く時にもライフインの施用は軟弱徒長を防ぎ、健全な生育に有効である。

注4) 苦土の要求量が上がるため、りん酸吸収効率の上昇効果を含めて腐植酸苦土肥料の施肥を推奨。

<ご注文・お問い合わせ先>

有限会社サンジェットアイ  
 岡山県倉敷市玉島八島1987  
 TEL 086-523-5420 FAX 086-523-5450  
<http://www.sunjet-eye.co.jp>